

コース 3 花の醍醐だいがと吉野山よしのやま

リーダー CL K/T SL M/T

実施日 平成25年4月9日(火)～12日(金) 晴れと薄曇り

参加者 23(男性 3 女性20)

グレード B上

コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
9日新潟駅万代口		22:05	夜行バス、1号車18人、2号車5人で分乗
10日京都駅	5:45	7:20	JR山科駅で、地下鉄東西線乗り換え、醍醐駅下車
醍醐寺	8:10	11:00	女人堂、(下)醍醐寺、三宝院拝観。桜はほぼ終わっていた。
京都駅～近鉄・吉野駅	出13:40	着16:00	京都駅へ戻り、近鉄吉野線へ、途中、橿原神宮前で乗換え。
吉野駅～花屋泊	出16:00	着16:45	ロープウェイを横目に、下千本を歩いて登る。花の面影少しあり。
11日花屋～金峰山寺	出7:10	出8:00	役行者ゆかりの蔵王堂、南朝皇居跡の妙法殿など拝観
竹林院庭園・花供会式	8:40	10:20	桜は散っていたが、千利休改築の群芳園はさすが立派。珍しい花供会式の一部始終を拝観
花矢倉展望台～上千本	10:50	11:05	遥かに蔵王堂・中千本を望み、吉野水分神社へ
金峰神社～奥千本	11:30	12:50	義経隠塔を経て、奥馳け、山上ヶ岳分岐より、西行庵へ。昼食。奥千本で満を持して桜満開。
高城山～上千本	13:20	14:20	高城山では三百名山の竜門岳と高見山、金剛山、葛城山を眺望。上千本は十分桜を見れた。
中千本～妙意林寺	14:40	15:55	中千本の高台は観桜の中心地。後醍醐帝の眠る妙意林寺へ
花屋～下千本～京都駅前	16:50	22:55	往路と同じ。花屋で荷物を受取り、近鉄吉野線で京都へ
12日新潟駅万代口	6:25		無事帰着「ホッ」

山行等概要（幹事のコメント）

- この山行は、なんといっても「桜」がお目当て。吉野の中千本に焦点を合わせれば、（秀吉の花見で知られた）醍醐の桜も見頃の筈だった。好例の吉野の「花供会式」（金峰山寺にはななくえしき桜を供える儀式[行列]）も、この時期に設定されている。しかし、残念ながら今年は桜の開花が、全国的にも10日前後早まっていて、上千本でかろうじて見れ、奥千本で満開だった。しかし、両箇所とも見所多く、それを補って余りあるものだった（と思う）。
- （以前と違い）ガッカリしたことが2つ。1つは醍醐寺の女人堂の脇をロープで囲い、坊主がウルサク見張っていた。（何とその僧が、観音堂で写経に当たっていた!?) もう1つは吉野の吉水神社の「一目千本」の眺めが塀で閉じられていた（セチガライコト!）。
- なお、下千本、上千本、奥千本地では、杉林等の大規模な伐採が進められていて、そこへ植樹されるであろう20年後の桜に、更に期待したい。（生キテイルカナ?)
- このたび、リーダーがデジカメの電池を忘れ、T/Tさんに写真を全てお願いし感謝すると共に、結果的に“ケガの功名”でかえって良い写真になって良かった。



密やかに西行庵や花の下 (もと)
賢太



法螺 (ほら) 響き 金山花の震えけり
賢太

「花の醍醐と吉野山に参加して」

(1571) K/T

綺麗な桜の花に出会えるだろうか、天気には恵まれるだろうか、と期待して参加した「花の醍醐と吉野山」の旅を振り返ってみると本当に楽しく満足した2日間でした。

行き帰りの夜行バスは、眠ったような眠られなかったような不思議な感覚でしたが、あまり疲れませんでした。きっと行きは期待感で、帰りは満足感で一杯だったからだと思います。

10日早朝、京都駅に着き、ロッカーに荷物を預けて朝食。電車と地下鉄を乗り継いで醍醐駅に到着。醍醐寺まで散歩気分できょろきょろしながら歩きました。新潟より季節が2週間ほど進んでおりハナズオウの濃い紫、スイセンの黄色、ユキヤナギの清楚な白い花などが楽しめました。

醍醐寺に着くと参道の桜は、散っており残念でしたが、大きく立派な桜の木は、満開ならすごいらうなど想像するに十分なほど堂々として立っていました。醍醐寺拝観の前に先ず訪れた女人堂では、スギ林の中に水かけ地蔵が並んでいて一つ一つ水をかけてお参りしました。



醍醐寺弁天堂

醍醐寺は、真言宗醍醐派の総本山で、三宝院をはじめとする諸院や金堂・弁天堂など種々のお堂が広い境内に建ち並んでいます。中でも印象に残ったのは、三宝院。真っ黒な扉に金びかの菊のご紋と桐のご紋が目立つ唐門、秀吉が設計したといわれる手入れの行き届いた桃山式庭園。ここのしだれ桜はまだ咲いていたのですが、撮影禁止で本当に残念でした。朱塗りの弁天堂と橋も池に映って、薄黄緑の若葉とのコントラストが素敵でした。西大門の仁王様や五重の塔をバックにしたり、池の橋の上で手を振ってポーズをとったりとみんな楽しんで写真を撮り合いました。最後は、雨月茶屋で抹茶とお菓子でひと休み。美味しかったです。秀吉の醍醐の花見とまではいきませんでした。十分に楽しみました。

醍醐駅のアルプラザで昼食を食べた後、京都駅で荷物を出していよいよ奈良県の吉野へ。2時間ほどかかり、思ったより遠く感じました。

吉野駅に着くと人、人、人。これだけの人がみんなお花見に来たのかと思うと、改めて吉野山が日本で有数の桜の名所なのだとびっくりします。ロープウェー乗り場を横に見て、中千本入口にある民宿「花屋」まで歩く道筋では、オドリコソウやエンゴサク、ニリンソウなど可愛い花が迎えてくれました。

民宿「花屋」は、こじんまりとした家庭的な宿でした。夕食はグループごとに鍋料理を囲み、ビールで乾杯。朝早くから動いていたのでお酒の回りも早く、いい気分になって、ご馳走もおいしく頂きました。翌日のお昼の「柿の葉寿司」の注文をしてもらいお世話になりました。この日は、みんな早めに床に就いたようです。

11日、曇っていて時折り小雨がぱらつく肌寒い日。大きな荷物を宿に預けて、いよいよ出発です。金峯山寺までは両側にお店が並ぶ登り道。時間が早いためか歩いている人が少なくて蔵王堂に着いた時は、

まだ拝観時間前。国宝である仏像に会えずとても残念でした。「銅の鳥居」と「仁王門」の大きさが印象的。中千本の桜は、この辺りではほぼ終わっていました。

吉水神社に寄りましたが、ここもまだ開いておらず、リーダーお勧めの一目千本と言われる花見の名所も見ることができませんでした。(以前は、自由に見ることができたそうです)



竹林院庭園

この日、一番たっぷりと時間を取って楽しんだのは竹林院庭園です。千利休が改築したと伝わる回遊式庭園で大和三名園に数えられ群芳園と名付けられています。桜や馬酔木の花がきれいで、蔵王堂方面の眺めが素晴らしかったです。更に東屋にみんなで入って、コーヒーやお茶を頂いたのが、とても楽しかったです。お店の人がてくてこ舞いの忙しさ。20人以上の私たちが一気に注文したのですから…。でも、和気あいあいのムード。花供会式の大行列が始まるまでゆっくりしました。大名行列も準備段階から見

ました。山伏や鬼・奴さん姿の人と記念写真を撮っていたメンバーも嬉しそうに見えました。行列は金峯山寺まで時間をかけて行くそうです。

私たちは、桜を眺めながら、上千本・吉野水分神社(子授けの神様)、奥千本・金峯神社と巡って行きました。金峯神社は、古くから修験道の行場になっていた所で、杉林の中、義経隠塔と呼ばれるお堂まで歩きました。

だんだん天気も良くなり、奥千本・西行庵に着くころは雨の心配もなく、桜が美しい山々を眺めながら昼食。最高でした。

午後は、リーダーが高城山展望台を始め、吉野山の桜・絶景ポイントを次々と案内して下さり、最後の訪問地「如意林寺」まで登ったり下ったりの山道。宝物殿で楠木正行辞世の扉を見たり、台の上に寝て天井の如意輪観音図を拝んだりして吉野山を十分楽しみました。吉野山全体が濃いピンクから白っぽいピンクの桜におおわれて幻想的な感じでした。忘れられない素晴らしい風景です。



奥千本桜

夕方、予定通りに「花屋」に到着。多少のハプニングもありましたが、京都駅で全員集合。夕食を食べてから夜行バスで帰りの途につきました。

リーダーを始め、皆様にお世話になりました。ありがとうございました。

また、後日素晴らしい写真を頂き、良い思い出になりました。

花の醍醐と吉野山 その1

新津ハイキングクラブ山行

平成25年4月9日 夜行バス発 4月12日朝 夜行バスで帰宅



上 醍醐寺正面山門

右 醍醐寺五重塔



右
醍醐寺
不動堂



上、中、右の3枚
醍醐寺弁天堂



上 三宝院庭園 建物と中の庭園は
素晴らしいが撮影禁止で残念

右2枚
京都駅天空階段頂上展望台



花の醍醐と吉野山 その2



10日 吉野山 下千本「花屋」に宿泊



金峯山寺 蔵王堂前



竹林園 庭園にて



上下 竹林園 東屋の抹茶はことのほか旨かったです



花供会式大名行



上千本花矢倉展望



上千本の桜

花の醍醐と吉野山 その3



上の三枚 奥千本の桜

右上の四枚 上から 1班 2班 3班 4班



帰路 中千本の桜 車の通る道の真ん中から大急ぎで撮影、顔の半分の人ごめんね



リーダー推薦の中千本から上千本を望む絶景ポイント



最後の訪問地 如意林寺 楠木正成 正行父子の別れの像